

# 長崎県立高等学校教育改革 第 6 次 実 施 計 画



平成 2 3 年 8 月 1 9 日

長崎県教育委員会

# 目 次

長崎県立高等学校教育改革第6次実施計画の策定について.....	1
《1》新たな連携型中高一貫教育の導入.....	2
《2》福祉教育の充実.....	3
《3》通信制高等学校における「しま地区」での面接指導の充実.....	4
第6次実施計画（総括表）.....	5

## 長崎県立高等学校教育改革第 6 次実施計画の策定について

長崎県教育委員会は、時代の要請や社会の変化、少子化による生徒数の長期的な減少など、本県高等学校教育を取り巻く環境の変化や諸課題に対応するとともに、21世紀を切り拓き本県の将来を築く人づくりを担う高等学校づくりをこれまで以上に推進するため、今後の県立高等学校教育の改革や適正配置等に関する基本的な考え方を示す「第二期長崎県立高等学校改革基本方針」（計画期間：平成23～32年度、以下「第二期基本方針」という。）を平成21年3月に策定した。

第二期基本方針においては、平成13年2月に策定した「長崎県立高等学校改革基本方針」（以下「第一期基本方針」という。）のもとで進めた具体的施策の検証を踏まえ、基本的には第一期基本方針を継承しながらも、一島一高等学校に準じる通学上の不便さを抱える地域の高等学校については、当該地域における高等学校教育の機会を確保する観点から特例を設け、小規模校であってもできるだけ維持し、教育内容の充実に努めていくこととしている。

今回策定した「長崎県立高等学校教育改革第6次実施計画」（以下「第6次実施計画」という。）は、通学上の不便さを抱える地域の高等学校への新たな連携型中高一貫教育の導入など、平成24年度から25年度に実施する施策をまとめたものである。

今後、県教育委員会及び関係高等学校においては、第6次実施計画の着実な推進に努め、教育水準の維持・向上を図っていくものとする。

## 《 1 》 新たな連携型中高一貫教育の導入

連携型中高一貫教育は、中高の合同行事や合同部活動、教員の相互乗り入れ授業、6年間を見通したカリキュラム編成などにより、小規模校であっても教育水準の向上が期待される。

大崎高等学校は、連携しようとする中学校からの入学者数の割合など、導入要件を満たすことから、連携型中高一貫教育を導入する。

連携する中学校は、西海市立大島中学校と崎戸中学校が統合され、新たに設置される大崎中学校（仮称）で、大崎高等学校の敷地内への設置が予定されており、連携型中高一貫教育としては全国的にも特色のある同居型となり、より高い教育効果が期待できる。

### < 導入する高等学校 >

・大崎高等学校・・・平成25年度

連携する中学校 西海市立大崎中学校（仮称）

### 【導入要件】 第二期基本方針より抜粋

当該高等学校と連携する中学校が2校以内であり、当該高等学校と連携する中学校との距離が6km程度内であること。

当該高等学校の入学者が導入後一定期間2学級以上見込まれること。

連携する中学校から当該高等学校への入学者が3分の2以上あり、当該高等学校の入学者の4分の3以上を連携中学校の卒業者が占めていること。

当該高等学校や連携する中学校が所在する市町及び市町教育委員会が連携型中高一貫教育の導入を希望するとともに、中高一貫教育に協力できる態勢にあること。

## 《 2 》 福祉教育の充実

これまで、本県の福祉教育については、家庭科、農業高等学校の生活科学科や生活福祉科、総合学科の福祉系列において訪問介護員の資格や介護福祉士の国家試験受験資格の取得を進めてきた。

介護福祉士については、「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正に伴い、教育内容の高度化や養成学校の指定基準の引き上げなど養成課程の見直しが行われた。

現在、大村城南高等学校では、福祉・生活系列において介護福祉士を養成しているが、法改正時の特例措置により、平成 25 年度入学生までが適用対象となっている。

そのため、福祉に関する教育課程を拡充するなど諸条件を整え、特例措置終了後も受験資格が得られる養成学校として福祉系人材の育成に取り組み、本県福祉教育の一層の充実を図ることとする。

<p>大村城南高等学校 総合学科【福祉・生活系列】 (平成 24 年度)</p>	<p>福祉に関する教育課程の拡充</p>
--	----------------------

### 《 3 》 通信制高等学校における「しま地区」での面接指導の充実

鳴滝高等学校通信制課程には、対馬、壱岐、五島などの「しま地区」に居住する生徒が在籍している。通信制課程では、学習意欲を喚起し継続的に学習を進めるため、月2回程度日曜日等に面接指導（スクーリング）を行っている。

「しま地区」など本校に通学できない生徒については、居住地域の高等学校が協力校となり、協力校教員等が面接指導を実施している。

そのため、これらの生徒にとっては、「面接指導」と提出するレポートや定期考査などの「評価」の一体化が図りにくいことや本校への帰属意識が弱くなりがちであるなどの課題があった。

このような状況を踏まえ、協力校の教室にいる生徒に対する鳴滝高等学校の教科担当教員によるインターネットを活用した面接指導（以下「遠隔授業」という。）の研究を行ってきた。

これまでの研究を通して、音声や画像の質、双方向の伝達状況等の改善が図られ、教員の遠隔授業の技術も向上した。対馬、壱岐、五島の3地区同時実施も支障なく行われるようになったことから、平成24年度から遠隔授業を本格的に導入し、「しま地区」での面接指導の充実を図ることとする。

#### < 導入する高等学校 >

・ 鳴滝高等学校・・・平成24年度

遠隔授業を実施する協力校

対馬高等学校、壱岐高等学校、五島高等学校

# 長崎県立高等学校教育改革第6次実施計画(総括表)

## 1 実施計画の概要

平成21年3月に策定した「第二期長崎県立高等学校改革基本方針」に基づき、平成24年度から25年度に実施する施策。

## 2 実施計画の内容

### 《1》新たな連携型中高一貫教育の導入

中高の合同行事や合同部活動、教員の相互乗り入れ授業、6年間を見通したカリキュラム編成などにより、小規模校であっても教育水準の向上が期待される連携型中高一貫教育を導入する。

#### <導入する高等学校>

・大崎高等学校…平成25年度

連携する中学校 西海市立大崎中学校(仮称)

### 《2》福祉教育の充実

福祉に関する教育課程を拡充するなど諸条件を整え、介護福祉士の国家試験受験資格が得られる養成学校として福祉系人材の育成に取り組み、本県福祉教育の一層の充実を図る。

大村城南高等学校  
総合学科【福祉・生活系列】  
(平成24年度)

福祉に関する教育課程の拡充

### 《3》通信制高等学校における「しま地区」での面接指導の充実

「しま地区」で学ぶ通信制課程の生徒に対し、通信制高等学校本校の教科担当教員がインターネットを活用した面接指導(遠隔授業)を行うことにより、「しま地区」での通信制教育の充実を図る。

#### <導入する高等学校>

・鳴滝高等学校…平成24年度

遠隔授業を実施する協力校

対馬高等学校、壱岐高等学校、五島高等学校

「長崎県立高等学校教育改革第6次実施計画」

長崎県教育庁 総務課 県立学校改革推進室

〒850-8570 長崎市江戸町2 - 13

TEL 095-894-3317 FAX 095-894-3470

ホームページ [http://www.pref.nagasaki.jp/edu/school\\_edu.php](http://www.pref.nagasaki.jp/edu/school_edu.php)